

交通安全協会は、交通事故をなくすため、幅広い活動を行っています。

交通安全協会の活動は、会員の皆さんからご協力いただいた会費で支えられています。

★運転者会員
3年会費...1,500円 5年会費...2,500円
※ 途中入会の方は、免許の有効期間の残り年数1年当たり500円となります。

★賛助会員
当協会の活動に賛同していただく事業所・団体及び個人で、ご協力いただける額です。

交通安全アドバイザーによる交通安全教室
幼児から高齢者まで対象の交通安全指導
高齢者宅訪問指導
ドライビングシミュレーターでの運転疑似体験
交通安全イベント・フェスタ等の開催
子ども自転車三重県大会
交通安全の広報啓発
交通安全防止街頭啓発
交通安全国民運動中央大会
優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰

こうつうあんぜんワークブック
こうつうあんぜんぬりえ
新入園児、新入学小学生への交通安全教材の提供
交通事故無料相談の開設

三重県交通安全協会 所在地

地区名	住所	電話番号
三重県交通安全協会	〒514-0004 津市栄町1丁目954栄町庁舎5F	059-228-9636
桑名地区交通安全協会	〒511-0836 桑名市江場626-2	0594-23-9680
いなべ地区交通安全協会	〒511-0206 いなべ市員弁町宇野320-1	0594-74-4646
四日市地区交通安全協会	〒510-8015 四日市市松原町4-32	059-366-3448
四日市南地区交通安全協会	〒510-0064 四日市市新正5丁目5-5	059-353-2212
四日市西地区交通安全協会	〒510-1222 三重郡菟野町大強原3241	059-394-5456
亀山地区交通安全協会	〒519-0165 亀山市野村4丁目1-27	0595-82-1146
鈴鹿地区交通安全協会	〒510-0237 鈴鹿市江島町3446	059-388-1241
津地区交通安全協会	〒514-0033 津市丸之内22-1	059-227-5550
津南地区交通安全協会	〒514-1101 津市久居明町2501番地1	059-256-2010
松阪地区交通安全協会	〒515-0019 松阪市中央町366-1	0598-52-5431
大台地区交通安全協会	〒519-2404 多気郡大台町佐原848	0598-82-3090
伊勢地区交通安全協会	〒516-0016 伊勢市神田久志本町1481-3	0596-25-1607
鳥羽地区交通安全協会	〒517-0042 鳥羽市松尾町74番地4	0599-26-2606
尾鷲地区交通安全協会	〒519-3652 尾鷲市古戸町1-50	0597-23-0553
熊野地区交通安全協会	〒519-4324 熊野市井戸町380	0597-89-3701
紀宝地区交通安全協会	〒519-5701 南牟婁郡紀宝町鶏殿1709-2	0735-32-0597
伊賀地区交通安全協会	〒518-0823 伊賀市四十九町下敷免1929-1	0595-23-1944
名張地区交通安全協会	〒518-0751 名張市蔵持町芝田837-3	0595-63-1705

お問い合わせ、お申し込みは各地区交通安全協会・免許事務課(運転免許センター内)まで

交通安全協会は一件でも交通事故をなくし、一人でも多くの方の命を守るために活動しています。
お住まいの地域で悲惨な交通事故をなくすために、当協会の活動にぜひご支援・ご協力をお願いします。

会員の皆様へ協賛店サービス

県内外数百店舗のご協力により、“会員の店”での料金の割引がご利用いただけます。
携帯サイトアドレス及びQRコードからも検索できますので、ぜひご利用ください!

【携帯サイトアドレス】
<http://www.mie-ankyo-mise.com/mobile/>

この表示がある店舗が協賛店です。

対応携帯機種であれば、ここからもアクセスできます。

[QRコード]

三重県交通安全協会では、「協賛店」を募集しています。各地区交通安全協会へお問い合わせください。

この広報紙は、日本自動車販売協会連合会三重県支部・三重県軽自動車協会のご協力により、当協会が作成し発行しています。

交通安全ルールを守ってつなげる笑顔

(財)全日本交通安全協会作成による「交通ルールの遵守・マナーの向上等のためのロゴマーク」です。

(財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2013 / 早春号 No.181

発行所
(財)三重県交通安全協会
三重県交通安全活動推進センター
(三重県公安委員会指定)

〒514-0004
津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F
TEL 059-228-9636
URL <http://www.mie-ankyo.com/>

北から南から ～各地区の活動～

交通安全協会は交通事故をなくすため、幅広い活動を行っています。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 保育・幼稚園、小・中学校への交通安全資器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

伊賀地区交通安全協会の活動はP2にズームアップ!

わたしはシンボルマスコット“ストップビー”です。



交通安全協会の活動は、会員の皆様のご支援・ご協力により、支えられています。

伊賀地区交通安全協会

に ZOOM UP!

女性部会手作り、オリジナル「交通安全カルタ大会」の開催!



伊賀地区交通安全協会は、伊賀市内の小学校児童(1年~6年生)を対象に、楽しみながら交通ルールを学ぶ「交通安全子どもカルタ大会」を開催しました。

女性部員が、「りんりん走る自転車 車に注意」、「気をつけよう 毎日とおる道だけど」などの交通安全を呼びかける文字札を読み上げると、児童たちは「ハイッ!」と大きな声を発し、先を競って札にとびついていました。

小学校でのカルタ大会の開催は初めてで、子どもたちに大好評を得、交通ルールを学ぶ楽しい機会となりました。

春の全国交通安全運動

平成25年4月6日(土)~4月15日(月)

4月10日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

運動の基本

- 子どもと高齢者の交通事故防止

運動の重点

- 自転車の安全利用の推進(特に、自転車安全利用五則の周知徹底)
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

自転車安全利用五則

- 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 車道は左側を通行
- 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 安全ルールを守る
- 子どもはヘルメットを着用

第41回

あなたの運転技術を試してみませんか? ぜひチャレンジを!! 二輪車安全運転三重県大会参加者募集のお知らせ!

参加費無料!

二輪車の安全技術とマナーの向上を図り、交通事故防止のため、毎年開催しています。昨年はベテランから初めての方まで総勢48名の選手が参加し、法規走行と技能走行の2種目で腕を競いました。あなたも安全運転技術を試してみませんか。優勝者は全国大会への出場も可能です。

- 主催：三重県交通安全協会・三重県二輪車安全運転推進委員会
- 後援：三重県警察本部・三重県二輪車安全普及協会
- 協力：日本自動車販売協会連合会三重県支部・三重県軽自動車協会
- 開催日時：平成25年6月2日(日)
- 開催場所：三重中央自動車学校



(三重県大会)

- 参加クラス：①若年者クラス(20歳未満・50cc以下)
- ②女性クラス(50cc以下)
- ③一般Aクラス(126ccから400cc以下)(但し全国大会の競技車両は400ccです。)
- ④一般Bクラス(400ccを超えるもの)(但し全国大会の競技車両は1,100ccです。)

- 競技内容：法規走行(交差点の通行、合図、安全確認等) 技能走行(スラローム、千鳥走行、一本橋走行等)

各クラスの成績上位者の中から、8月3日(土)及び8月4日(日)に鈴鹿サーキットで開催される全国大会に出場の三重県代表選手を選考します。サーキットを目指してみませんか? 多くの方のご参加お待ちしております!

詳しくは、(財)三重県交通安全協会 TEL 059-228-9636 へお問い合わせください。



追突事故 どう防ぐ?

三重県内の追突事故発生数(平成24年中)

人身事故発生件数10,155件 うち追突事故件数4,162件(41%)				
死亡事故		負傷者数		
件数	死者数	5,935人	重傷者数	軽傷者数
13件	13人		85人	5,850人

昨年における交通事故発生状況を見ると、最も多い事故形態は追突事故でした。三重県内では年間に4,162件もの追突事故で死傷者が出ています。なぜ、こんなに多くの追突事故が発生するのでしょうか…?

人身事故で最も多い事故形態は「出会い頭事故」と思われがちですが、実際は追突事故が一番多く発生しています。三重県では、全人身事故の4割を超えており、全国数値と比べて約10%も多く発生しています。

そこで、事故原因を法令違反別で見ると、「前方不注意(脇見運転)」が最も多く、次いで「動静不注視」となっています。つまり、漫然と「前をよく見ていなかった」ことが事故に繋がっています。

追突事故に繋がる運転者の心理としては、「急ぎ」、「焦り」、「思い込み」、「錯覚」、「慣れ」、「油断」、「ぼんやり」、「判断ミス」、「運転能力の過信」などがあり、この追突事故を減少させることが、交通事故全体を減少させるといっても過言ではありません。

追突事故防止の3つのポイント!

速度に応じた車間距離を確保する

一般道路では、表示速度から15%引いた数値が車間距離の目安とされていますが、時間に換算して前車との距離を計測してみたり、目印を設けて前車との間隔を3秒以上空けてみましょう。

前車の速度を予測する

交差点など、前車の減速が予測される場所では、前車が減速しても追突が回避できるような速度を抑え、車間距離を十分空けましょう。

前方の交通状況を把握する

直前の車はもちろん、前方の交通状況をチェックすることで先行車の動きを把握し、余裕を持った運転を心がけましょう。また、遠方ばかりに気を取られることなく、直前の歩行者にも注意しましょう。

一番身近で起こりうる事故は前方不注意です。前方への「目配り」と「気配り」を怠らず、いかに「危険を読むか」が重要です。

運転免許事業部 副部長 川瀬 薫

第53回

交通安全国民運動中央大会

交通安全栄誉章

(敬称略)

平成25年1月15日及び16日の両日、第53回交通安全国民運動中央大会が東京都内で開催されました。第1日目は、グランドヒル市ヶ谷において「地域・家庭部会」、「交通安全教育部会」及び「企業部会」の三部会に分かれて分科集会が開催され、交通安全対策について討議されました。第2日目は、日比谷公会堂において本会議が開催され、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、全国から約2,000人が参加する中、交通事故犠牲者に対する黙祷の後、交通安全栄誉章など各種の表彰や交通安全年間スローガン、交通安全ファミリー作文最優秀入選者に対する内閣総理大臣賞等の授与が行われました。多年にわたり、交通安全のために献身的な尽力や交通事故の防止と交通秩序の確立に功績を残された方々に敬意を表し、心からお祝いを申し上げます。本大会において三重県内で受賞された個人及び団体は次のとおりです。



- ◆交通安全優良団体 亀山市南部地区コミュニティ
- ◆交通安全優良営業所 日東電工株式会社 亀山事業所 ヤマモリ株式会社 松阪工場
- ◆交通安全優良学校 津市立上野小学校
- ◆優良交通安全協会 松阪地区交通安全協会
- ◆優良安全運転管理者協議会 熊野地区安全運転管理協議会

交通安全優良団体等

- ◆緑十字金章(交通安全功労者) 澤田 泰(鈴鹿地区) 前川 満(津南地区)
- ◆緑十字銀章(交通安全功労者) 別所 一美(四北地区) 出口 民雄(桑名地区) 小森 文勝(四西地区) 林 信郎(津地区) 山添 学(大台地区) 藤原 一章(伊勢地区) 松田 玉江(伊賀地区) 米澤 隆(名張地区) 澤田 紘(鈴鹿市)